



肉まんづくり 6月30日 - 龍石小学校 -
西有家食生活改善グループの協力で行われた肉まんづくり。高学年が肉まんの具(たね)を作り、低学年は、まんじゅうの生地を練りました。ほのぼのとした時間を楽しく過ごしました。

ココロねっこのお店が増えてます

ながさき子育て応援の店
- とくともサービス -

すまいるサービス

社会全体での子育てを支援するこの取り組みも、3年目。九州(長崎・佐賀・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)の共通サービスで、対象店では、乳幼児のいる家庭(「小学校入学前」の子どもが1人以上いる家庭)に対する経済的な支援や子育て家庭に対する心遣いを提供しています。市内にも多くの応援店がありますので、ステッカーを目印にどうぞ。



授乳室やおむつ
換え台、ベビー
カー貸出など



入館料や飲食代
の割引、粗品の
サービスなど

「今の自分があるのは、あの人のおかげです」
誰でもいい。自分のことを、そう思ってくれる誰かがいるならば、その人生は最高だと思うのです。

ありがとう



ココロねっこ
8 子どもや子育て家庭を温かく見守り、相談にのりましょう。

子どもが自立して家庭にいないような家庭も、ココロねっこ運動に参加することができます。空き地で遊んだり、通学する子どもたちを、優しく見守ることが、子どもたちをさまざまなトラブルから守ることにつながります。子どもに優しく注意したり、相談を受けたら、相談にのることも立派な「ココロねっこ」。
あなたも始めてみませんか。

ココロねっこ
9 **10** 「ノーマルデー」を設定し、家族のだんらんを応援しましょう。学校・PTA 行事や地域行事に参加しやすい雰囲気や体制を整えましょう。

企業にもメリットが
「労働者が企業に求めるもの」が、以前の「賃金の多寡」に加え、近年「働きやすさ」、「働きがい」を重視する傾向にあります。家族をかえりみない労働に「働きがい」を感じることは難しいものです。法律で定められた労働条件を守ることは当然ですが、近年は、これに加え「休暇を取りやすい」などの職場の雰囲気づくりが働きやすさにつながります。また、企業にとっても、働きやすい職場を提供することは、良い人材の長期雇用という観点からとても有効です。

ココロねっこのお店
増えてます 「家庭の日」とくともサービス

毎月第3日曜日の「家庭の日」に、家族そろっての団らんを応援する家庭の日とくともサービス券のサービスを受けることができます(18歳未満の子ども同伴の家族でクーポン券を持参いただいた人が対象)。サービス券は、ココロねっこ運動のホームページからプリントして利用してください。



- 南島原市内協賛店 -
- みき寿司/お食事代10%割引
 - かづさイルカウォッチング イルカウォッチング乗船料10%割引
 - 口之津観光船企業組合/乗船料10%割引
 - 原城温泉真砂/温泉入浴料200円引き

ココロねっこが導くもの
冒頭、「ココロねっこの「子どもの心を『ねっこ』」に、「大人を大地」に例えました。これは、言い換えれば、皆さんが子どもと接するとき、子どもたちが皆自身自身の「よさ」や「個性」を吸収している、ということなのです。毎日の吸収は、少しずつかもしれませんが、ほかの人からもたくさん吸収しているのでわかりにくいかもしれませんが、子どもたちは何かを感じたり、覚えていて、彼らを少しずつ変えていく。そして、十分に成長した子どもたちが、ふとしたときに言う。あるいは思っているのです。

「今の自分があるのは、あの人のおかげです」
誰でもいい。自分のことを、そう思ってくれる誰かがいるならば、その人生は最高だと思うのです。



白浜海岸清掃 7月1日 -口之津小・中学校-
熱心に、そして楽しそうに海水浴場の清掃活動を行う子どもたち。自分たちの海だから、自分たちできれいにする。とてもすてきなことです。

ココロねっこ
6 いじめや仲間外しがなく、安心して園・学校生活を送れるようにしましょう。



砂の造形 7月6日 - 野田小学校 -
児童と地域の高齢者が、砂の造形を通じて交流。何を作るか、どうやって作るかを熱心に話し合い、制作しました。下級生と上級生が力を合わせて作った造形は、「亀」など5種類。子どもたちは、「みんなで作る楽しさ」を満喫しました。



地域の子どもたちに声をかけていますか?
地域の子どもたち(こ)ろから声をかけましょう。地域の子もたちと「顔見知り」になることは、思った以上に楽しいものです。まずは、「おはよう」から、始めてみませんか。

PTAあいさつ運動 毎月第1月曜日 - 津波見小学校 -
通学時に、PTAが学校の玄関に立ち、大きな声であいさつし合うあいさつ運動。最初は照れていた子どもたちも、次第に大きな声に。大きな声のあいさつで、子どもたちだけでなく、保護者や先生も気持ちよい一日の始まりとなったようです。



抱っこ体験 7月5日 - 西有家中学校 -
いつかお父さん、お母さんになる子どもたち。乳児とのふれあいの中で、命の大切さを学びました。「大変だけどね。とっても楽しいの」と乳児のお母さん。自分も愛されて育ってきたことをあらためて知り、感激する子どももいました。

ココロねっこ
5 楽しい遊びや学び、わかる授業を展開し、たくましく生きる力を育みましょう。

学校では、子どものための工夫に余念がありません
学校でも、通常の授業に加え、さまざまな取り組みをおして、子どもたちの心を育んでいます。各小中学校では、「長崎っ子の心を見つける」教育週間を設け、期間中に、命の大切さを伝える道徳の公開授業、田植えや音楽会など、各学校独自のさまざまな取り組みを行っています。子どもたちがもっとも長い時間を過ごす学校だから、楽しい時間、充実した時間になりたい、そんな思いで先生方一人ひとりが取り組んでいます。

学校には、



楽しい工夫がいっぱい

ココロねっこ
7 あいさつ・声かけ運動を推進し、子どもも大人も顔見知りになりましょう。

